

2026年2月12日

各 位

住所	東京都渋谷区桜丘町26番1号
会社名	GMOインターネットグループ株式会社
代表者	代表取締役グループ代表 会長兼社長執行役員・CEO 熊谷 正寿
問い合わせ先	(コード番号 9449 東証プライム) 取締役 グループ副社長執行役員・CFO グループ代表補佐 安田 昌史
TEL	03-5456-2555(代)
URL	https://group.gmo

サイバーセキュリティ事業を展開する連結子会社
(GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社)の
東京証券取引所への株式上場準備に関するお知らせ

当社の連結子会社で、サイバーセキュリティ事業を営む GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社(以下、GMO サイバーセキュリティ by イエラエ)は、本日、東京証券取引所への株式上場に向けた準備を行うことを決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. GMO サイバーセキュリティ by イエラエの上場準備について

GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、「人を助ける信念を 守るチカラに変えていく」をパーソナリティに掲げ、国内最大規模のホワイトハッカー組織を擁する強みを活かし、Web アプリケーションや IoT 機器等の脆弱性診断、ペネトレーションテスト等のサイバーセキュリティ事業を展開しています。特に、2022年の当社グループ参画以降は、同社の高度な技術力を「仕組化・プロダクト化」し、当社グループのインターネットインフラ事業における顧客基盤、マーケティングノウハウを通じて広く提供するシナジー戦略を推進してまいりました。その成果として、セキュリティ自動診断ツール『GMO サイバー攻撃ネット de 診断』等に落とし込むことで、安価かつ高品質なセキュリティ対策の普及を実現し、着実に事業基盤を強化してまいりました。

昨今、サイバー攻撃の手口は高度化・巧妙化し、その頻度は激化の一途をたどっております。攻撃対象も多様化し、企業活動のみならず重要インフラが標的となる事例が増加するなど、脅威は社会の根幹を揺るがすレベルへと拡大しています。加えて、現在、AI が身体性を持ち実社会で活動するフィジカル AI、すなわち AI・ロボティクスの時代が到来しており、社会全体でテクノロジーの実装が進んでおります。これに伴い、守るべき領域は、Web 空間にとどまらず、実社会で稼働する IoT 機器や自動車、さらにはデータセンター等の施設そのものへの物理侵入対策(物理ペネトレーション)へと拡大し、リスクは国家安全保障に関わるレベルに達しています。その対策は、事業継続および安全な国家・社会の実現にお

ける喫緊の課題となっております。

このような事業環境のもと、GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、日本全体のサイバーセキュリティレベルの引き上げに貢献し、業界のリーディングカンパニーとなることを目指しております。その実現に向け、GMO サイバーセキュリティ by イエラエは資金調達力の強化、知名度と社会的信用力のさらなる向上を図るべく、東京証券取引所への株式上場に向けた準備を進めていくこといたしました。株式上場を通じた優秀な人材の確保や株式市場との継続的な対話による経営力の強化に取り組み、企業価値向上を図ることで、日本のサイバーセキュリティの強化に貢献してまいります。

現在、当社グループは、「すべての人に安心な未来を」を掲げ、グループ総力を挙げて「ネットのセキュリティも GMO」プロジェクトを推進しております。GMO サイバーセキュリティ by イエラエの株式上場は、このグループ戦略の中核として、当社グループ全体が推進する「AI・ロボティクス」領域の安全性を根底から支え、グループ全体の持続的な成長と企業価値向上を実現するために極めて重要な意義を持つものであります。したがって、上場準備にあたっては、GMO サイバーセキュリティ by イエラエは引き続き当社の連結子会社であることを前提としております。

なお、株式上場は関係当局の承認を前提とすることに加え、株式上場の準備過程における検討の結果次第では、株式上場を延期する可能性や株式上場をしないといった結論に至る可能性もあります。そのため、現時点では上場予定期、市場等は未定となっております。今後の上場準備の進展状況を踏まえ、開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 当社における子会社上場の方針

当社グループは、変化の速いインターネット市場において勝ち続けるため、「権限の分散」と「グループシナジーの極大化」をグループ経営の基本方針としております。この方針のもと、アントレプレナーの集合体である当社グループは、「GMO」というグループ統一ブランドを最大限に活かしつつ、各社の経営自律性を保ちながら、GMO イズムを中心とした共通の価値基盤の共有・徹底を基盤としたグループ間の強固な結びつきによって事業シナジーを創出し、優れたアイデアを持つ企業の成長を支援するプラットフォームとして機能することを目指しております。

このようなグループ経営の基本的な考え方のもと、当社グループでは、グループ会社上場を重要な成長戦略の一つと位置付けております。当社グループの上場戦略には複数のアプローチがあり、スタートアップ企業が大企業グループの経営資源を活用して成長を加速し、その後上場を目指す「スイングバイ IPO」と呼ばれる成長モデルの実践もその一つです。当社グループは 2005 年の GMO ペイメントゲートウェイ株式会社のマザーズ上場をはじめ、これまでに複数の上場を実現しており、今回の GMO サイバーセキュリティ by イエラエもこの一例であります。また、グループ内で事業を育成し上場に導く内部育成型の上場も推進しております。上場を通じた知名度と社会的信用力の向上、優秀な人材の確保、株式市場との継続的な対話を通じた経営力強化により、各社が No.1 サービスの提供を実現し、お客様の満足度向上と利益創出を通じたグループ企業価値の向上、ひいては少数株主に対する適切な利益還元を行うことを目指しております。

グループ各社の上場および市場区分の変更については、上記の基本方針に基づき、各社の意思決定に委ねております。今回の GMO サイバーセキュリティ by イエラエにおける上場の意思決定についても同様の考え方によるものであります。

なお、現時点において、既に上場準備を公表している子会社以外のグループ会社上場について決定された事項はありません。

注)本開示文書は、日本国内外を問わず投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。また、米国における証券の募集を構成するものではありません。米国 1933 年証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国内において証券の募集又は販売を行うことはできません。米国における証券の公募が行われる場合には、米国 1933 年証券法に基づいて作成される英文目論見書が用いられます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

以上